



[令和 7 年 1 月 8 日 定例会発表要旨]

## 前田ふるさとの会

手稲郷土史研究会 相談役 永井 道允

「地域の子どもは地域の大人が責任をもって育てなければならない」と昭和57年に、前田連合町内会が青少年の健全育成を目標に立ち上げたのが「前田ふるさとの会」である。

時代背景は、少年犯罪は戦後第3のピークといわれ、全国各地の中学校で校内暴力・破壊、万引き等の非行が蔓延していた。

近隣の中学校からもそれらの生々しいわさが聞こえていた。

この地域に新設校「前田中学校」が開校することになり、「他校のような荒れた中学校にだけはしてはならない」という地域住民の意識が高まっていた。「前田ふるさとの会」は単に非行防止の運動ではなく、前田の地で育ったことに誇り

を持てるような子に成長することを願って、「ふるさとづくり」に立ち上がったのである。組織も学校とPTAに偏った組織ではなく、広くできるだけ多くの前田の住人たちがかかわるように参加してもらった。主たる活動は地域住民の「ふるさと意識」の高揚・徹底を図るための広報活動。広報紙「ていね山」の発行、関係団体と連携しながら必要に応じて活動をするというものである。初年度は予算も17万円を計上した。

事業部は、数々の講演会等を開催してきたが、北海道銀行文化財団が「地域貢献活動として北海道における芸術文化の振興と潤いのある道民生活の実現に寄与する」という理念で、「音楽の花束をあなたの街へ」という事業を行っていることを知る。札幌交響楽団にかかわる経費は道銀文化財団が負担してくれ、要請した団体は、会場の設営・撤去やポスターやチラシ、プログラム等の作成費用で済むというものである。「音楽を通して感性豊かな人間に育てほしい」ということから、手稲の小中学校に札幌交響楽団を招き子どもたちが良質の音楽に直接触れることを通じて健全育成に役立てることの実現に努めた。

しかし、札幌を招いてのコンサートは莫大な費用がかかるため、「前田ふるさとの会」では負担しきれず、関連組織として「ていねふるさとコンサートの会」として独立した。「ふるさとの会」と「ふるさとコンサートの会」は常に車の両輪のごとく連携協力して開催されていた。

この「ていねふるさとコンサートの会」は手稲の象徴である前田森林公園で札幌の野外演奏会を開いた。これが大好評で2回目からは札幌のフルオーケストラで開催されてきた。立派な専用のテント張り野外ステージも用意され「ていねの森コンサート」と銘打って10年間続いた。さらに、市民合唱団も編成され毎回最後に札幌の演奏をバックに「ハレルヤ」の合唱が響き渡った。多くの行政機関・各種団体・諸企業・個人の寄付や支援によって、開催が続いたのである。

17年間続いた「前田ふるさとの会」も20年間続いた「ていねふるさとコンサートの会」も解散して今はない。しかし、前田の青少年たちの健やかな成長を願って展開された偉業と、協力を惜し



まなかつた多くの企業・団体・個人がいたことを忘れてはならないと思う。前田連合町内会の燦然と輝く歴史の1ページだと思う。

\*ていねふるさとコンサート10周年



ていねふるさとコンサート10周年記念 第九演奏会 02.11.3 Kitara 大ホール

前田森林公園にて実施

ていねの森コンサート'94



7月30日(土) 前田森林公園(テニスコート)

ていねを音楽の街に 私たちも応援します

- |  |  |   |
|--|--|---|
| 大鶴塗装<br>ぬいまいずみ<br>美容室 ウィンクス<br>英和工業棟<br>英和コーポレーション<br>エス・アイ工業棟<br>エンパイア一星置店<br>角谷歯科医院<br>居酒屋 がる川<br>本のかむら<br>南清寿し・停車場・バブ清<br>札幸工業棟<br>札幌市農業協同組合 手稲支店<br>札幌テレビライオンズクラブ<br>札幌富の沢病院<br>医療法人 深山会手稲病院 | 三栄興産<br>JOY前田店<br>南真洗舎<br>酔 幸<br>街スガケン<br>鮎 貫<br>セブンイレブン 手稲本町111やま<br>せぼよし<br>株 大 東<br>武田燃料商会<br>地域情報誌 ていね倶楽部<br>街中央葬儀社<br>株手稲オリンピア<br>手稲区商店街連絡協議会<br>手稲神社 | 手稲町商店街振興組合<br>手稲料飲店旅館協会<br>東海建設工業棟<br>道新佐々木販売所<br>道新佐藤販売所<br>中村商事<br>西法人会手稲支部<br>南新田スポーツ<br>ハッシュバビー札幌手稲店<br>ファッションショップマルエー<br>ファミリーカラオケF-1<br>福祉建設<br>藤千代商事<br>南アソシエーツ<br>ポイントショップまつい |
|--|--|---|

**\*\*永井 道允 相談役のプロフィール**

- 昭和11年 虻田郡豊浦町字礼文華に生まれる
- 昭和18年 余市町立大川国民学校入学
- 昭和24年 余市町立東中学校入学
- 昭和27年 北海道余市高等学校入学
- 昭和30年 北海道学芸大学函館分校入学
- 昭和32年 古平町立古平小学校教諭
- 昭和42年 留寿都村立三ノ原小学校教諭
- 昭和48年 札幌市立琴似小学校教諭
- 昭和53年 札幌市立前田小学校教諭
- 昭和62年 札幌市手稲北小学校教頭
- 平成 3年 札幌市立盤溪小学校校長
- 平成 6年 札幌市立新光小学校校長
- 平成 9年 創成学園そうせい幼稚園園長
- 平成14年 同幼稚園退職後は、町内会活動を微力ながら続けている

趣味・・・スキー・山歩き・サイクリング・ウォーキング (高齢のため不可能になり)



**次回定例会 3月12日【水】 18時15分 区民センター3階視聴覚室**

**内容「前田森林公園の歴史とこれから」札幌市緑の推進室 佐々木浩太郎氏・高島 恵氏**

手稲郷土史研究会 会報「郷土史ていね」第 202号 令和7年2月12日発行

発行責任者：沖田紘昭 (手稲郷土史研究会 会長) 編集：立花邦雄・川上義昭

♣006-0818 札幌市手稲区前田8条11丁目4-5 林俊一方 手稲郷土史研究会\*TEL 090-3381-4994

\*FAX 011-682-9874 ♣メールアドレス [teinenorekishi@gmail.com](mailto:teinenorekishi@gmail.com) 担当 菊池 博行